

資料18-2

パブコメ結果にもとづく条例骨子案等の修正・加筆一覧

2022年7月7日追加 喜多明人

1) 骨子案の構成・見出し語の修正について

★E 保障すべき子どもの権利 ➡ 新 C 保障すべき子どもの権利

★A-3「Child Friendly Cityの実現」

➡ 「子どもにやさしいまち(Child Friendly City)の実現」

★C-3「子どもへの子どもの権利広報・学習」➡「子どもによる子どもの権利学習」

2) 本文についてー委員長「報告書案」(資料19)

ー骨子案に盛り込むべきパブコメ意見・検討課題ー優先的に検討

修正・加筆(★) 17か所

検討課題 11項目

➡ 委員長「報告書案」(資料19)ー最低限のパブコメ意見を組み込んだ

◎委員から市民の声(パブコメ意見)を積極的に追加して入れてほしいこと

A-1 骨子案 前文 多様性の時代と子どもの権利

4 ページ

★権利の主体の理念追加

★子どもが求める三大権利 平和に生きる権利

安心して生きる権利

差別されない権利

➡ 平和と安心の権利の重なりを意識して

検討課題 ○冒頭部分はシンプルな内容に

○多様性の時代と子どもの権利の普遍性との調整の問題

○守られる権利 表現の自由 権利を知る権利

A-2 骨子案 前文 権利の保障方法

★家庭、育ち学ぶ施設だけで子どもを支えていくことの限界をふまえて

⇔「疲弊」という表現に異論多く

★学校教職員支援中心 ➡ 保育等の「育ち学ぶ施設」(乳幼児期から..)

検討課題 ○家庭と学校、地域との関係性(並列か?)

一家庭中心の考え方、保育など

6 ページ

A-3 CFC

A-4 プロセス

補足意見 ○各分野のマイノリティー層の意見の尊重

A-5 子どもの声

○ムサカツの子どもたちの声、子どものパブリックコメント(自由意見)で出た子どもたちの声を、今後市で整理して、条例の素案に反映してはどうか。

➡【聴いてみたい！子どもたちの声】

8 ページ

B-1 目的規定

検討課題 ○学校等の育ち学ぶ施設 ➡ A-2 と同じ
○「パートナー」という用語 わかりにくい

B-2 用語の定義

C 保障すべき子どもの権利 E ➡ C (目次くりあげ)

C-1 子どもにとって大切な子どもの権利

11ページ

骨子案 ★前置き文

★①～⑦

★自分らしく育ち仲間と共に生きる権利

★休む権利及び自由に時間を過ごす権利

検討課題 ○ヤングケアラー (1)
○インクルーシブ教育 (6) 通いやすい学校 ➡ 学校外でも良い
○出自(出身・家柄)差別 (7)

補足意見 (3)

C-2

C-3

D 誰が保障するのか

D-1 市の役割・責務 ★ 支援 ➡ 環境整備

D-2

D-3 保護者の役割 ★暴言、過剰叱責…これらの暴力によらない養育
目指す ➡ を行うこと

★保護者は、……抱え込まずに相談するよう努めること

D-4 育ち学ぶ施設の役割 ○ 学校 ➡ 育ち学ぶ施設

○指導の名による人権侵害(校則等) ➡ 生徒指導提要の改訂(8月)

D-5

E 子どもを支える人びとへの支援

E-1

E-2 保護者、家庭への支援

検討課題 ○ヤングケアラー問題を記載すべきか

E-3 学校等、育ち学ぶ施設への支援

★育ち学ぶ施設職員の研修・学習などの支援

- 検討課題** ○学校教職員の支援を強調すべきという意見と、学校だけを強調すべきでなく乳幼児の視点、保育システムの改善などについて加筆すべきという意見
⇒後者の意見を具体化する委員(担当事務局)
⇒ 学校教職員(育ち学ぶ施設職員では文が読めない)の立場から、SSWr、SCの専門的支援

F-1 ★遊び場等の確保だけでなく 人材育成

- 検討課題** ○学校内に授業を受けなくてもよい居場所スペース

F-2

F-3 ★子どもの尊厳および秘密保持義務の尊重 追加項目

F-4 ★意見表明・参加による不利益の防止 追加項目

- 検討課題** ○子ども会議の選出・構成・運営 規定が詳細すぎることに議論が尽くされていない
○意見が聞かれる機会の保障にとどめる
意識が高い子のみ でなくどんな子でも聞き取られることが重要

F-5

F-6

G-1

G-2 尊厳を傷つける暴力の禁止

- 性的虐待、ネグレクト 追加

G-3 虐待防止

G-4 いじめ防止

G-5 権利侵害の相談救済—オンブズ

- 検討課題** ○オンブズの制度化、どこまで規定しておくか
⇒ 1年遅れ、設置規程「定員」規定は？

H-1

H-2

H-3 評価・検証方法

- 検討課題** ○子どもプラン推進地域協議会…子どもプラン等の評価検証機関
⇒ 上位の子どもの権利条例の実施についての評価検証はなじまない。
別の独立した第三者評価検証を行うべき
⇒ユニセフの独自評価方法の提唱、
子ども参加による子ども施策評価(こども基本法11条)

以上